



林野庁図書館ニュース

発行: 林野図書資料館

TEL:03-3501-0964



よく読まれている図書のご紹介



今年も残すところ数日となりました。年末年始のまとまった時間を利用してゆっくり読書をされる方も多いのではないのでしょうか。そこで、今回は林野図書資料館でよく読まれている令和元年以降の貸出・閲覧数ランキングをご紹介します。



第1位

保持林業 木を伐りながら 生き物を守る



成熟期をむかえる日本の人工林管理の新指標。オリンピックを契機として森林認証が注目されるなか、環境に配慮した伐採をどう進めるかがクローズアップされている。だが、生物多様性の保全に配慮した施業のガイドラインは存在しない。本書は、欧米で実践され普及している、生物多様性の維持に配慮し、林業が経済的に成り立つ「保持林業」を第一線の研究者16名により日本で初めて紹介。保持林業では、伐採地の生物多様性の回復・保全のために、何を伐採するかではなく、何を残すかに注目する。北海道有林で行なっている大規模実験、世界での先進事例、施業と森林生態の考え方、必要な技術などを科学的知見にもとづき解説。生産林でありながら、美しく、生き物のにぎわいのある森林管理の方向性を示す。

編集: 柿澤宏昭、山浦悠一、栗山浩一
出版社: 築地書館 (2018年11月発行)



第2位

森林・林業実務必携 第2版



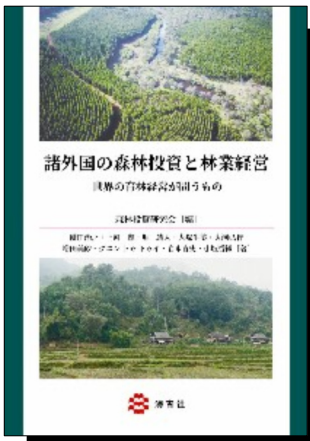
公務員試験の受験参考書、林業現場技術者の実務書として好評のテキストの改訂版。高度化・広範化した林業実務に必要な技術・知識を、基礎的な内容とともに拡充。[内容] 森林生態/森林土壌/材木育種/育林/特用林産/森林保護/野生鳥獣管理/森林水文/山地防災と流域保全/測量/森林計測/生産システム/基盤整備/林業機械/林産業と木材流通/森林経営/森林法律/森林政策/森林風致/造園/木材の性質/加工/改質/塗装・接着/資源材料/保存/化学的利用

編集: 東京農工大学農学部 森林・林業実務必携編集委員会
出版社: 朝倉書店 (2021年4月発行)



第3位

諸外国の森林投資と林業経営



世界の林業が天然林採取的な林業から人工林育成的林業へと移行しつつある今日、古くから育成的林業に移行した日本では育林経営が厳しい現状にある。世界に目を向けると従来型の農民的林業とTIMOやT-REITといった新たなタイプの育林経営の並存が見られる。それらを実態をもとに考察し、世界の動向の中で日本の育林業を考える書。口絵15頁付(現地カラー写真)。

編集: 森林投資研究会
出版社: 海青社 (2019年9月発行)



第4位

進化する里山資本主義



金銭的利益最優先の「マネー資本主義」のアンチテーゼとして、「里山資本主義」が提唱されてから7年。その実践者たちへの取材をもとに、各地で里山資本主義の種がまかれ、芽が出て、花が咲き始める様子を描きながら、そこにあった「成功要因」を明らかにする。お金に依存しすぎることなく、人と人のつながりを大切し、地域活性化を目指す人々にとって不可欠なガイドであると同時に、日本と世界が進むべき道を明快に照らした1冊。

監修: 藻谷浩介
編集: Japan Times Satoyama 推進コンソーシアム
出版社: ジャパンタイムズ出版 (2020年5月発行)

第5位以降の図書

逐条解説 デジタル手続法

令和元年12月16日に施行されたデジタル手続法(情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律)の初めての逐条解説の書です。

SDGs時代の木材産業 ESG課題を経営戦略にどう組み込むか?

「環境」と「経済」の両立に向け、新たな企業のあり方を示す! 具体的な取組事例を豊富に掲載。

手塚治虫の森(コミック)

すべての生命の源でありエネルギーに満ち溢れる「森」を舞台に描かれた珠玉の名作11話。

三枝教授のすばらしき菌類学教室(コミック)

イケオジ教授とキノコの魅惑の世界へようこそ! 憧れの君とめぐるめくキャンパスライフを目指して入学した大学は「実学主義」をモットーとする日本有数の農業大学だった--!

アフターコロナの森林・林業・木材産業のあり方を探る

林業改良普及双書No.198 コロナショックのその“先”を読み取る視点を探り、林業・木材産業の今後の課題を明らかにしていくための考え方やヒントが示されています。

グリーン・ジャイアント 脱炭素ビジネスが世界経済を動かす

ここまでトータルに現在の世界のエネルギーを論じた本はかつてなかった。気鋭の記者が渾身で書き下ろす警世の書。

よみがえれ、霞が関

統計データ不正処理、忖度官僚の跋扈…。官僚OBが放つ日本再生のための緊急提言!

SDGsを学ぶ 国際開発・国際協力入門

SDGs(持続可能な開発目標)とは何か、今日の世界にどのような意義をもつのか。目標設定と実現課題を第一線の研究者・実務家が掘り下げて解説。

新着図書・注目図書のご案内

林野図書資料館は、林野行政・施策部門における専門図書館として、歴史的に貴重な明治・大正期の森林・林業・木材産業に関する資料から森林環境教育等にご活用いただけそうな図鑑や絵本等まで幅広く図書を揃え、皆様のご利用をお待ちしております。新着図書や注目図書の一部をご紹介します。

本多静六 若者よ、人生に投資せよ



わが国初の林学博士として、日比谷公園をはじめ日本中の公園の設計、そして明治神宮の杜の造林に携わり、関東大震災後には東京復興計画の策定にも関わった。一方、大投資家として巨億の財産を築きながら、後年、そのほとんどを寄付し、若き世代を育てる礎とした。彼の名は、本多静六。これほど大きな仕事を成し遂げたにも関わらず、現代の日本人にあまり知られていない。『白洲次郎 占領を背負った男』で知られるノンフィクション作家・北康利氏が、本多静六の功績と生涯をたどり、知られざる偉人の実像に迫る渾身の傑作評伝。
著者：北 康利
出版社：実業之日本社(2022年10月発行)

森林大百科事典 新装版



《本書は『森林大百科事典』(2009年刊)を底本として刊行したものです》世界有数の森林国であるわが国は、古くから森の恵みを受けてきた。《本書は森林がもつ数多くの重要な機能を解明するとともに、その機能をより高める手法、林業経営の方策、木材の有効利用性など、森林に関するすべてを網羅した事典である。》
編集：森林総合研究所
出版社：朝倉書店(2022年11月発行)

地球の歩き方 旅の図鑑シリーズ W24 日本の凄い神木

人々の信仰を集める神木と人の生活と寄り添ってきた日本の巨木の歴史



旅に新しい楽しみや見方を紹介する旅の図鑑シリーズ新刊。日本の全都道府県の、地元で信仰される神木や、歴史ある巨木を紹介。木の歴史や巨木が生まれる背景、人との生活との関わりなど、「木の旅」をテーマに、各地方の巨木・神木、それに関わる情報満載。
著者：本田不二雄
編集：地球の歩き方編集室
出版社：地球の歩き方(2022年11月発行)

自然災害と土木ーデザイン



2000年代に入り大きな自然災害が頻発している。こうしたなか、これまでのような土木施設が引き続き必要とされる一方で、地域の環境や景観の面から再考する機運も高まっている。本書は、土木を「自然と人間をつなぐインターフェース」ととらえ、デザインを通して、こうした負のインパクトを減らすだけでなく、自然と人間の新しい関係を構築することを目指す。著者自らが関わった豊富な事例に加え、篠原修の土木デザイン論、内山節の自然哲学、ハイデガーの技術論などをふまえながら、土木をデザインすることの意味と可能性を問う。
著者：星野裕司
出版社：農山漁村文化協会(2022年10月発行)

SDGs ファイナンス (日経プレミアシリーズ 482)



急成長するカーボンプレジット市場、中小企業向けのサプライチェーン・ファイナンスなど銀行の気候変動への取り組み、ESGマネーと公的資金を組み合わせたブレンデッドファイナンスー狭義のESGを超えて、拡大、進化を続けるSDGsファイナンスの全貌に迫る。
著者：白井さゆり
出版社：日経BP日本経済新聞出版(2022年9月発行)

狩女のすすめ 獲る…だけじゃない ジビエの魅力教えます



ジビエで生きる、ジビエを活かす、ジビエで日本を元気にする!奥能登を拠点に、ジビエの伝道師として大活躍中の著者が、狩猟やジビエの魅力を軽やかに紹介。魚は捌けず、虫も苦手、運動音痴がいつの間にか、どっぷり猟師の世界に。40歳を超えてから狩猟やジビエと出会った波乱万丈のシングルマザーが、ときにシリアスに、ときにユーモラスに綴った一冊。
著者：ジビエふじこ
出版社：緑書房(2022年11月発行)

人が輝く森林経営 創業200年を見据えて



慈雨をたたえた森では様々な木や草が生え、虫や動物もいて、お互いが生かし合い、全体として調和しながら生成発展していきます。共存共栄の理想像がまさに森です。経営や会社組織においても、様々な個性を持った人が集まり、個人を生かし調和しつつ栄える森のような企業こそ理想です。本書は、株式会社桶庄の佐藤寛之社長の経営観、人生観を余すことなく伝え、ヒト、モノを徹底的に生かす経営の極意を紹介します。
著者：佐藤寛之
出版社：PHP研究所(2022年10月発行)

公務員の人前で話す技術 あがらずに話せる全ノウハウ



人前で話すのが苦手な公務員に向けて、さまざまな場面での話し方を解説!説明・スピーチをする際の基本的なポイントに加え、朝礼から会議・会合、レク、住民説明会、昇任面接、記者会見、議会答弁、研修講師まで、場面別に話し方のコツを伝授。さらに、特にあがり症の公務員に向けて、緊張してしまう要因とその克服法を丁寧に伝える。部署・役職を問わず、公務員に欠かせない「人前力」が身につく1冊!
著者：鳥谷朝代
出版社：学陽書房(2022年11月発行)

連絡先：林野庁 企画課 林野図書資料館(国立国会図書館支部林野庁図書館)

代表：03-3502-8111(内線6060)ダイヤルイン：03-3501-0964

HP：<http://www.rinya.maff.go.jp/j/tosyo/index.html>

